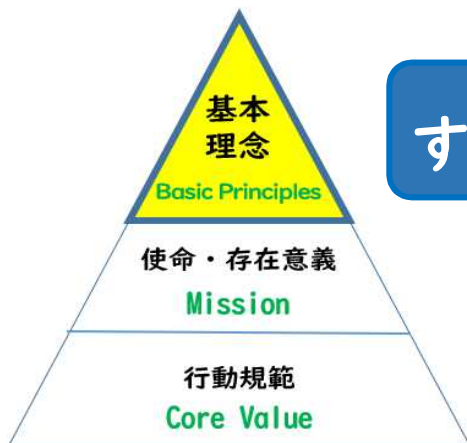


2021 「山ちゃん通信」 No.5

文責：山香 昭

経営指針シリーズ① 「基本理念」



すべては子ども達の笑顔あふれる未来のために

今回から、「令和3年度大分教育事務所 経営指針」について、解説したいと思います。

「基本理念」とは、組織の土台になっている基本的な指針であり、我々が何者で、なんのために存在し、何をやっているのかを示すものです（出典「ビジョナリーカンパニー」）

すべて 経営指針を定める際、ある方が「目の前に児童生徒はいませんが、自分の仕事の先には子どもたちがいると思って仕事をしています」と言われました。そうですね。一見「これ、意味があるのか？」と思われるよう調査でも、そのデータをつ積み上げることで県や国の施策につながります。また、だれも応募しないような案内でも、そのことで救われたり、そこで活躍できる子どもがいます。ここにいてすべての方のすべての仕事は、ひいてはすべての子ども達のためになります。



だからこそ、あなたは職場に必要な人です。そして、これからも周りの方の仕事にも関心をもって、声を掛け合い助け合いましょう。また、市や学校等の関係者にも感謝の気持ちで接することで楽しく仕事をしましょう。その際は「ありがとう」を一言添えて。

子ども達 4月1日の面談において、ある方が「私が判断をする際には、『どちらが子ども達のためになるのか』を基準にしています」と言われ感銘を受けました。前麴町中校長の工藤勇一さんや元大空小校長の木村泰子さんは、「子どもを『育てる』から『子どもが『育つ』学校へ』」と言っています。このことは、学習指導要領では「3つの資質・能力」が求められていることから明らかです。コロナ禍で新たな課題に対する判断が求められることが増えるでしょう。その際、主語を「子ども」にするよう意識しましょう。



拍手と笑顔

拍手はする方もされる方もみんな笑顔になりますね。

笑顔・未来 当初の案では「自立」「自律」「笑顔」でしたが、「子どもたちがいきいきと学校生活を過ごすことができるように」という点では「笑顔」だなあと感じます。また、子どもたちが自分の夢を叶えたり、子どもたちが明るい未来（人生）を歩んだりしていけるようになるためのお手伝いをさせていただいていると思って「未来」と書きました。」という案を受け、小野指導主事が2つを見事にまとめて素敵な理念ができました。

私たちは、この基本理念のもとに、子ども達が今を「笑顔」で過ごせるよう、そして、未来に向かって生涯学び続けられるように、みんなで力を合わせて頑張っていきたいと思います！